



## 平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年6月30日

上場会社名 (株)クラウディア  
 コード番号 3607 URL <http://www.kuraudia.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 鳴尾 好司

TEL 075-315-2345

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	9,772	4.3	637	10.0	674	14.5	895	187.7
28年8月期第3四半期	10,213	6.9	579	91.2	589	50.9	311	5.0

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 930百万円 (346.6%) 28年8月期第3四半期 208百万円 (61.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	103.29	
28年8月期第3四半期	35.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第3四半期	12,491	6,122	49.0	706.53
28年8月期	12,260	5,348	43.6	617.13

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 6,122百万円 28年8月期 5,348百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		5.00		10.00	15.00
29年8月期		8.00			
29年8月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,980	0.3	410	31.7	420	21.1	550		63.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年8月期3Q	9,689,200 株	28年8月期	9,689,200 株
29年8月期3Q	1,022,982 株	28年8月期	1,022,902 株
29年8月期3Q	8,666,282 株	28年8月期3Q	8,666,298 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府や日銀による経済・金融政策の効果により、雇用や所得環境の改善が続くなど景気は回復基調にあります。しかしながら、為替の急激な変動、中国をはじめとする新興国経済の減速や、米国新政権の経済政策の不透明感などにより依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当企業グループは、総合ブライダル「メーカー」としての位置づけを定着させるべく、婚礼衣裳のメーカー機能を軸としてブライダル市場のシェアアップに向け引き続き注力しており、当第3四半期連結累計期間においては、新たに次の事業展開を行っております。

平成29年3月には、当企業グループの更なる運営の効率化を図ることを目的に、当社と当社の連結子会社である株式会社クラウディアブライダルサービスとの吸収合併を実施いたしました。

平成29年4月には、主カブランドである「JILLSTUART」、「Barbie BRIDAL」の新作ドレスコレクションを発表いたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

以下の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業 売上高	2,714	2,558	△155	△5.7
製・商品売上高	1,905	1,803	△101	△5.3
レンタル収入等	809	754	△54	△6.8
ショップ事業 売上高	5,153	5,092	△61	△1.2
衣裳等取扱収入	3,189	3,262	73	2.3
製・商品売上高	667	679	12	1.8
レンタル収入等	2,521	2,582	61	2.4
リゾート挙式売上高	1,964	1,830	△134	△6.8
式場事業 売上高	2,344	2,120	△223	△9.6
連結売上高	10,213	9,772	△441	△4.3

ホールセール事業については、製・商品売上高は受注高減少の影響により引き続き苦戦し、前年同四半期に比べ101百万円減少の1,803百万円となりました。レンタル収入等につきましては、前年同四半期に比べ54百万円減少の754百万円となりました。この結果、ホールセール事業の売上高は前年同四半期に比べ155百万円減少し2,558百万円となりました。

ショップ事業については、引き続き国内インショップ店舗の既存店取扱件数が減少傾向にあるものの、写真事業が順調に推移し、また、平成28年1月より開始した美容事業が通期で寄与した結果、衣裳等取扱収入は前年同四半期に比べ73百万円増加の3,262百万円となりました。リゾート挙式事業については取扱件数、取扱高ともに減少し、リゾート挙式売上高は前年同四半期に比べ134百万円減少の1,830百万円となりました。この結果、ショップ事業の売上高は前年同四半期に比べ61百万円減少し5,092百万円となりました。

式場事業については、「ル・センティフォーリア 大阪」(大阪府北区)が施行組数を伸ばしましたが、同式場以外の式場について施行組数が減少したことから、施行組数の合計は前年同四半期に比べ80組減少の970組となりました。この結果、式場事業の売上高は前年同四半期に比べ223百万円減少し2,120百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,772百万円(前年同四半期比4.3%減)、営業利益は637百万円(同10.0%増)、経常利益は674百万円(同14.5%増)となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第3四半期連結累計期間において法人税等調整額(益)441百万円を計上したことにより、895百万円(同187.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、3,283百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金262百万円、繰延税金資産60百万円の増加、現金及び預金267百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ139百万円増加し、9,207百万円となりました。これは主に、繰延税金資産347百万円の増加、有形固定資産77百万円の減少によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ230百万円増加し、12,491百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ428百万円増加し、3,644百万円となりました。これは主に、短期借入金510百万円、賞与引当金147百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金158百万円、未払法人税等148百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ972百万円減少し、2,723百万円となりました。これは主に、長期借入金764百万円、役員退職慰労引当金146百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ544百万円減少し、6,368百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ774百万円増加し、6,122百万円となりました。これは主に、利益剰余金739百万円、為替換算調整勘定34百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年9月30日発表の業績予想を変更しておりません。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期(9月から11月)及び第3四半期(3月から5月)の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,227,089	959,574
受取手形及び売掛金	893,217	1,156,105
商品及び製品	186,419	166,722
仕掛品	109,701	110,241
原材料	197,206	237,611
貯蔵品	95,765	91,792
繰延税金資産	190,509	251,002
その他	303,893	322,359
貸倒引当金	△10,974	△11,777
流動資産合計	3,192,827	3,283,632
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,215,370	6,305,036
減価償却累計額	△3,515,357	△3,747,730
建物及び構築物(純額)	2,700,013	2,557,306
機械装置及び運搬具	426,981	450,880
減価償却累計額	△331,244	△348,355
機械装置及び運搬具(純額)	95,736	102,525
工具、器具及び備品	801,508	828,439
減価償却累計額	△705,490	△741,868
工具、器具及び備品(純額)	96,018	86,571
レンタル衣裳	514,646	520,296
減価償却累計額	△290,394	△243,765
レンタル衣裳(純額)	224,251	276,530
土地	2,548,339	2,548,339
建設仮勘定	9,294	24,679
有形固定資産合計	5,673,654	5,595,953
<b>無形固定資産</b>		
借地権	13,523	14,128
のれん	16,941	—
その他	7,756	7,756
無形固定資産合計	38,220	21,884
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	16,728	19,746
保険積立金	293,157	291,157
差入保証金	2,614,274	2,548,394
繰延税金資産	9,930	357,538
その他	483,400	433,190
貸倒引当金	△61,540	△60,222
投資その他の資産合計	3,355,952	3,589,803
固定資産合計	9,067,828	9,207,642
資産合計	12,260,655	12,491,275

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,808	394,225
短期借入金	140,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,218,873	1,059,980
リース債務	29,160	29,624
未払法人税等	240,190	91,848
賞与引当金	140,160	287,521
役員賞与引当金	—	9,000
繰延税金負債	2,218	—
その他	1,142,733	1,122,767
流動負債合計	3,216,145	3,644,967
固定負債		
長期借入金	2,733,333	1,968,936
リース債務	87,915	66,410
役員退職慰労引当金	535,761	389,463
繰延税金負債	30,230	—
資産除去債務	232,476	234,441
その他	76,570	64,124
固定負債合計	3,696,288	2,723,375
負債合計	6,912,433	6,368,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,228,876
利益剰余金	3,462,449	4,201,618
自己株式	△623,327	△623,371
株主資本合計	5,139,588	5,878,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,893	3,324
為替換算調整勘定	206,739	240,894
その他の包括利益累計額合計	208,632	244,218
純資産合計	5,348,221	6,122,931
負債純資産合計	12,260,655	12,491,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	10,213,286	9,772,211
売上原価	3,350,528	2,980,586
売上総利益	6,862,758	6,791,625
販売費及び一般管理費	6,283,405	6,154,245
営業利益	579,352	637,380
営業外収益		
受取利息	9,024	8,403
受取配当金	167	213
受取賃貸料	13,511	9,758
受取手数料	13,900	12,777
為替差益	—	2,866
助成金収入	783	1,963
その他	13,868	14,435
営業外収益合計	51,254	50,418
営業外費用		
支払利息	18,060	11,485
為替差損	18,214	—
その他	4,874	1,419
営業外費用合計	41,148	12,905
経常利益	589,459	674,893
特別利益		
固定資産売却益	1,134	649
保険解約返戻金	—	10,218
特別利益合計	1,134	10,868
特別損失		
固定資産売却損	5,100	189
固定資産除却損	2,650	304
保険解約損	—	53
減損損失	14,880	—
特別損失合計	22,630	546
税金等調整前四半期純利益	567,962	685,214
法人税、住民税及び事業税	342,810	231,161
法人税等調整額	△85,955	△441,109
法人税等合計	256,854	△209,947
四半期純利益	311,107	895,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,107	895,162



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	311,107	895,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	1,430
為替換算調整勘定	△102,556	34,154
その他の包括利益合計	△102,716	35,585
四半期包括利益	208,391	930,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,391	930,747
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成29年1月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。この契約に基づき、当社は平成29年3月1日付で株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業

名称 株式会社クラウドディア(当社)  
事業の内容 婚礼衣裳等の企画・製造・販売・レンタルに関する事業など

被結合企業

名称 株式会社クラウドディアブライダルサービス(当社の100%子会社)  
事業の内容 結婚式場の運営

(2) 企業結合日

平成29年3月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社クラウドディアブライダルサービスを吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社クラウドディア

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社クラウドディアブライダルサービス(以下「KBS」といいます。)は、当社が平成22年8月に設立いたしました当社100%出資の連結子会社であり、同年9月に実施いたしました当社から同社への結婚式場の運営に関する事業(以下「式場事業」といいます。)の譲渡以降、当社の主要連結子会社として式場事業の運営を行ってまいりました。

その後、平成28年9月1日付にて、当企業グループのサービス事業領域の事業部門(ショップ事業・式場事業)を統合・一社化し、経営の効率化を図ることを目的として、KBSが営む式場事業(建物等一部の不動産に関する資産・負債及び契約上の地位を除く。)を、同じく当社100%出資の連結子会社である株式会社クラウドディアコスチュームサービスに吸収分割により承継いたしました。

上記の経緯から、KBSについては、当該吸収分割の分割会社としての事務手続きを進めるとともに、当企業グループにおける事業会社としての活用方法等を検討してまいりましたが、当社が平成29年9月1日付(予定)で持株会社に移行することから、同社が所有する不動産を当社に集約することにより当企業グループの更なる運営の効率化を図ることを目的に、同社を吸収合併いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理をしております。